

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社ラック 上場取引所 東  
 コード番号 3857 URL <http://www.lac.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高梨 輝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 財務経理本部長 (氏名) 藏重 久則 TEL 03-6757-0100  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,665	△0.5	386	△20.9	325	△20.9	82	△53.6
25年3月期第2四半期	14,736	△2.5	489	△17.7	411	△15.8	178	24.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 122百万円 (△10.3%) 25年3月期第2四半期 136百万円 (22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.26	—
25年3月期第2四半期	6.11	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,807	6,100	34.2	240.03
25年3月期	19,250	6,194	32.0	243.10

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,091百万円 25年3月期 6,169百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	4.4	2,100	5.1	1,950	5.4	1,000	9.6	39.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	26,683,120株	25年3月期	26,683,120株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,306,510株	25年3月期	1,305,440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	25,377,056株	25年3月期2Q	25,378,360株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 連結業績及び連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る数値です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高局面を継続しており、国内需要が底堅さを維持し、穏やかな回復基調で推移しました。

情報サービス産業においては、これまで抑制・先送りしていたシステムの更改需要を背景とした市場回復の動きはみられるものの、保守・運用コストの削減ニーズは依然としてあり、IT投資に対する姿勢は慎重に推移しました。また、当社が強みを持つセキュリティ分野においては、巧妙かつ複雑化するサイバー攻撃の増加を受け、需要は引き続き堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社は、「更なる安心安全のサービスを拡充」の施策のもと、株式会社セキュアソフトとセキュリティ監視・運用サービスの協業を開始し、さらなる新規顧客獲得に努めてまいりました。また、本年4月に設置した「ビジネスディベロップメント本部」において、企業や官公庁内にセキュリティ監視センターを構築し運用を支援する内部監視システム「PSOC」など、セキュリティとシステム開発の技術融合による新たなビジネスモデルの創出に努めてまいりました。

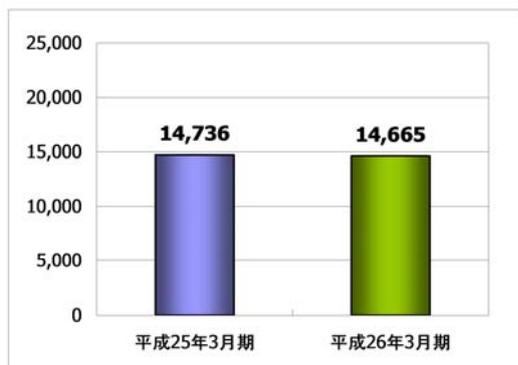
当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高はセキュリティソリューションサービス事業（以下、SSS事業という。）と、システムインテグレーションサービス事業（以下、SIS事業という。）では増加しましたが、ディーラー事業では減少し、146億65百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。利益面では、売上の減少に加え事業強化に向けたセキュリティ運用監視サービスのシステム刷新に伴うシステム運用費の負担増や、SIS事業におけるシステム開発案件の一部に不採算が発生し、売上総利益は27億36百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。前年同四半期にあった統合関連費用がなくなったことや、労務費、その他営業費用など販売費及び一般管理費を抑制し、営業利益は3億86百万円（前年同四半期比20.9%減）、経常利益は3億25百万円（前年同四半期比20.9%減）、四半期純利益は82百万円（前年同四半期比53.6%減）となり、利益予想を上回りました。

当第2四半期連結累計期間における業績の前年同四半期比は次のとおりであります。

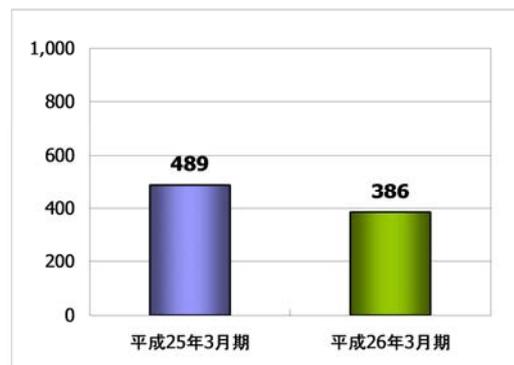
(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	14,736	14,665	△70	△0.5
売上原価	11,716	11,929	213	1.8
売上総利益	3,020	2,736	△283	△9.4
販売費及び一般管理費	2,530	2,349	△181	△7.2
営業利益	489	386	△102	△20.9
経常利益	411	325	△86	△20.9
四半期純利益	178	82	△95	△53.6

[連結売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[連結営業利益の前年同四半期比 単位:百万円]



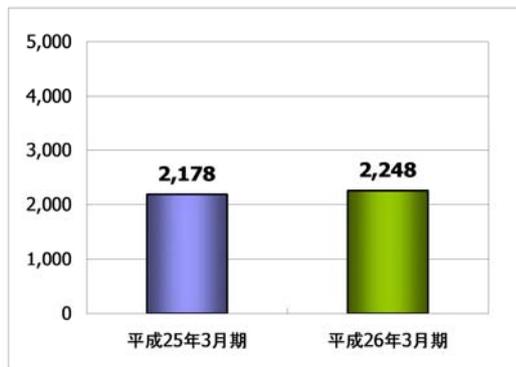
セグメントの業績は次のとおりであります。

セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

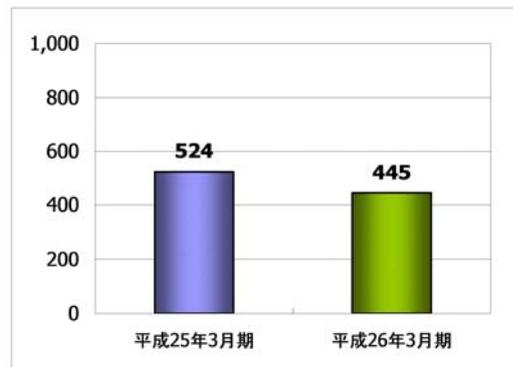
（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
セキュリティ コンサルティングサービス	901	701	△199	△22.2
セキュリティ 診断サービス	315	419	103	32.8
セキュリティ 運用監視サービス	962	1,128	166	17.3
売上高	2,178	2,248	69	3.2
セグメント利益	524	445	△79	△15.1

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



セキュリティコンサルティングサービスは、標的型メールによるサイバー攻撃などによるセキュリティ事故が後を絶たないなか、緊急対応サービスの受注は増加したものの、前年同四半期にあった、セキュリティ対策支援の大型案件および海外拠点の一部案件がなかったことに加え、業務内容の変更に伴う他事業部への一部業務移管などにより、売上高は7億1百万円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

セキュリティ診断サービスは、受注拡大に向けたサービス供給体制の強化により、既存顧客のリピート案件の獲得を含む受注や、緊急対応サービスの提供を契機とする新規案件の受注が増加し、売上高は4億19百万円（同32.8%増）となりました。

セキュリティ運用監視サービスは、攻撃手法が一層巧妙かつ複雑化しており、従来の防御だけでなく、不正侵入を前提に情報流出を防ぐ対策への意識の高まりなどから新規受注が増加したことにより、売上高は11億28百万円（同17.3%増）となりました。

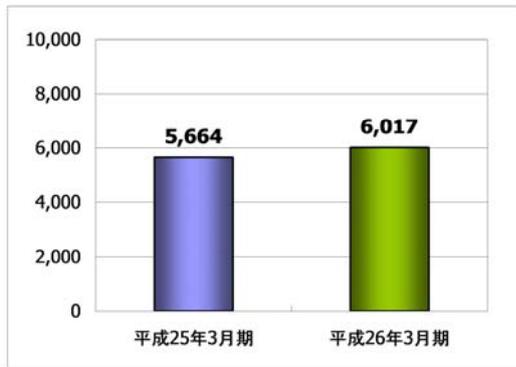
この結果、SSS事業の売上高は22億48百万円（同3.2%増）となりましたが、事業強化に向けたセキュリティ運用監視サービスのシステム刷新に伴うシステム運用費の負担増により、セグメント利益は4億45百万円（同15.1%減）となりました。

システムインテグレーションサービス事業（S I S事業）

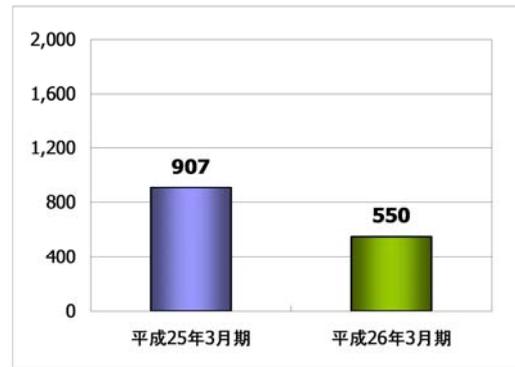
（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （平成24年4月1日～ 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （平成25年4月1日～ 平成25年9月30日）	前年同四半期比	
			増減額	増減率 （%）
開発サービス	5,664	6,017	352	6.2
売上高	5,664	6,017	352	6.2
セグメント利益	907	550	△357	△39.4

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



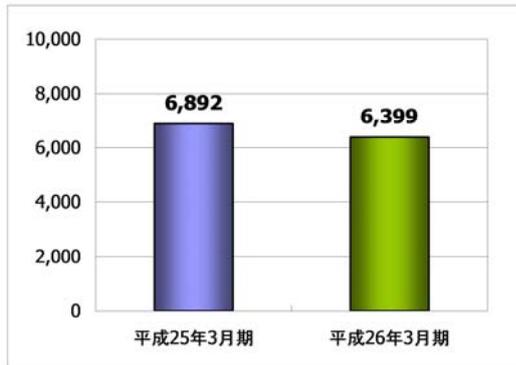
S I S事業の売上高は、開発サービスにおいて先送りされてきたシステム更新などの金融機関向け基盤系案件の受注が引き続き好調に推移したことに加え、公共向け新規大型請負案件の受注および、非金融業向け案件の受注が増加したことにより、60億17百万円（前年同四半期比6.2%増）となりましたが、クレジットカード業向け大型統合案件が不採算となり、セグメント利益は5億50百万円（同39.4%減）となりました。

ディーラー事業

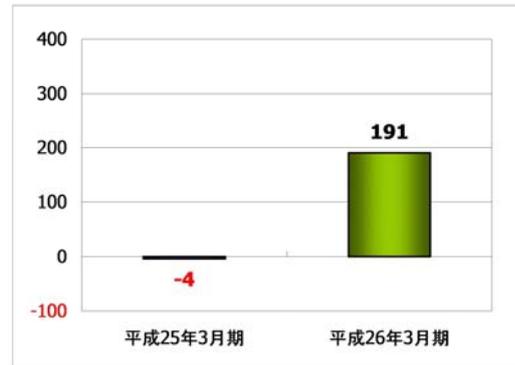
(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	前年同四半期比	
			増減額	増減比 (%)
HW/SW販売	2,923	2,083	△839	△28.7
IT保守サービス	3,690	4,026	336	9.1
ソリューションサービス	278	289	10	3.7
売上高	6,892	6,399	△493	△7.2
セグメント利益	△4	191	195	—

[売上高の前年同四半期比 単位:百万円]



[セグメント利益の前年同四半期比 単位:百万円]



HW/SW販売は、証券業向け案件など一部に受注の改善が見られたものの、大型案件の導入時期の遅れや、クラウドの活用や最適なシステム構築の要請などから案件の減少や小型化が進み、売上高は20億83百万円（前年同四半期比28.7%減）となりました。

IT保守サービスは、価格の低減要請があったものの、金融機関の営業店向けネットワーク機器更改案件が引き続き好調に推移し、売上高は40億26百万円（同9.1%増）となりました。

ソリューションサービスは、自治体向けシステム更新案件の受注が順調に推移し、売上高は2億89百万円（同3.7%増）となりました。

この結果、ディーラー事業の売上高は63億99百万円（同7.2%減）、セグメント利益は保守案件の収益率が大幅に改善されたことにより、1億91百万円（前年同四半期はセグメント損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億43百万円減少し、178億7百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少4億71百万円、受取手形及び売掛金の減少17億14百万円、商品の増加4億87百万円、前払費用の増加6億4百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億49百万円減少し、117億6百万円となりました。これは主に買掛金の減少6億27百万円、短期借入金の増加8億50百万円、前受収益の増加6億円、流動負債「その他」に含まれております未払金の減少7億62百万円、長期借入金の減少10億3百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、61億円となりました。これは主に期末配当などによる利益剰余金の減少1億20百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は34.2%となりました。

② キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、30億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億72百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億76百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益3億23百万円に減価償却費3億63百万円、のれん償却額2億28百万円、売上債権の減少額17億20百万円、たな卸資産の増加額7億20百万円、その他の流動資産（主に前払費用）の増加額6億6百万円、仕入債務の減少額6億28百万円、その他の流動負債（主に未払金）の減少額4億19百万円等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億39百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出72百万円、ソフトウェアの取得による支出68百万円等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億20百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額8億50百万円、長期借入金の返済による支出10億28百万円、配当金の支払額2億1百万円等を反映したものであります。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	平成24年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成25年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成26年3月期 第2四半期 連結累計期間	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率 (%)	32.0	29.3	34.2	33.5	32.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	46.2	46.7	87.4	66.7	95.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	419.4	2,437.6	1,728.9	299.6	207.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	12.1	3.0	5.2	19.9	30.7

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- (1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- (2) 時価ベースの自己資本比率における株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
- (3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオにおけるキャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。
- (4) キャッシュ・フロー対有利子負債比率における有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。
- (5) キャッシュ・フロー対有利子負債比率の当第2四半期連結累計期間での計算は、営業キャッシュ・フローを年換算しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の実績と今後の見通しを勘案し、平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月15日の決算短信で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,560,094	3,088,474
受取手形及び売掛金	5,013,017	3,298,251
商品	240,628	728,518
仕掛品	111,534	345,210
貯蔵品	1,494	20
前払費用	2,508,228	3,112,522
その他	834,268	735,156
流動資産合計	12,269,266	11,308,154
固定資産		
有形固定資産	1,026,509	944,611
無形固定資産		
のれん	2,447,225	2,217,797
その他	1,619,846	1,401,020
無形固定資産合計	4,067,071	3,618,818
投資その他の資産		
繰延税金資産	456,695	430,049
その他	1,431,371	1,505,932
投資その他の資産合計	1,888,067	1,935,981
固定資産合計	6,981,648	6,499,412
資産合計	19,250,915	17,807,566
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,054,660	1,426,830
短期借入金	200,000	1,050,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,031,000	2,006,000
未払法人税等	140,977	148,842
前受収益	2,525,517	3,126,151
賞与引当金	73,716	93,564
受注損失引当金	19,572	15,138
その他	1,970,241	852,547
流動負債合計	9,115,686	8,819,074
固定負債		
社債	50,000	—
長期借入金	3,723,000	2,720,000
退職給付引当金	75,638	79,407
負ののれん	549	—
その他	91,403	88,311
固定負債合計	3,940,591	2,887,719
負債合計	13,056,277	11,706,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	3,622,860	3,622,938
利益剰余金	1,856,299	1,736,102
自己株式	△331,914	△332,734
株主資本合計	6,147,244	6,026,306
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,854	30,894
為替換算調整勘定	19,168	33,940
その他の包括利益累計額合計	22,023	64,834
少数株主持分	25,369	9,631
純資産合計	6,194,637	6,100,773
負債純資産合計	19,250,915	17,807,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	14,736,304	14,665,991
売上原価	11,716,112	11,929,661
売上総利益	3,020,191	2,736,329
販売費及び一般管理費	2,530,971	2,349,488
営業利益	489,220	386,841
営業外収益		
受取利息	154	149
受取配当金	1,342	1,342
負ののれん償却額	1,099	549
保険解約返戻金	6,873	—
その他	7,085	4,802
営業外収益合計	16,555	6,844
営業外費用		
支払利息	48,708	30,706
支払手数料	40,754	22,417
その他	4,446	14,840
営業外費用合計	93,909	67,963
経常利益	411,866	325,722
特別利益		
負ののれん発生益	59,478	—
特別利益合計	59,478	—
特別損失		
固定資産売却損	—	531
固定資産除却損	1,260	1,515
減損損失	27,956	—
その他	387	—
特別損失合計	29,603	2,046
税金等調整前四半期純利益	441,741	323,675
法人税、住民税及び事業税	47,704	122,139
法人税等調整額	212,184	122,340
法人税等合計	259,889	244,480
少数株主損益調整前四半期純利益	181,852	79,195
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,248	△3,629
四半期純利益	178,603	82,824

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	181,852	79,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,245	28,040
為替換算調整勘定	△6,694	15,577
その他の包括利益合計	△44,940	43,617
四半期包括利益	136,911	122,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,127	125,636
少数株主に係る四半期包括利益	2,783	△2,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	441,741	323,675
減価償却費	265,867	363,790
減損損失	27,956	—
のれん償却額	228,929	228,877
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△551	429
賞与引当金の増減額(△は減少)	166	19,848
受注損失引当金の増減額(△は減少)	18,783	△4,434
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,503	3,769
受取利息及び受取配当金	△1,496	△1,491
支払利息	48,708	30,706
為替差損益(△は益)	△4	—
投資事業組合運用損益(△は益)	—	1,325
負ののれん発生益	△59,478	—
固定資産除却損	1,260	1,515
固定資産売却損益(△は益)	—	531
売上債権の増減額(△は増加)	750,345	1,720,831
たな卸資産の増減額(△は増加)	△680,421	△720,091
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△634,870	△606,364
仕入債務の増減額(△は減少)	△258,121	△628,795
未払消費税等の増減額(△は減少)	△100,032	△79,860
その他の流動負債の増減額(△は減少)	263,835	△419,146
その他	△15,680	92,003
小計	303,440	327,120
利息及び配当金の受取額	1,496	1,491
利息の支払額	△50,253	△33,667
法人税等の支払額	△101,437	△118,675
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,247	176,269

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,878	—
有形固定資産の取得による支出	△87,201	△72,264
有形固定資産の売却による収入	—	190
ソフトウェアの取得による支出	△307,454	△68,998
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	247,613	—
敷金及び保証金の差入による支出	△739	△50
敷金及び保証金の回収による収入	10,024	1,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,635	△139,484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△36,389	△38,019
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,300,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△996,910	△1,028,000
手数料の支払による支出	—	△39,900
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の売却による収入	27	124
自己株式の取得による支出	△1,023,657	△865
配当金の支払額	△199,793	△201,279
少数株主への配当金の支払額	△504	△630
少数株主への清算分配金の支払額	—	△12,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,007,228	△520,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,713	11,821
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,006,330	△472,248
現金及び現金同等物の期首残高	3,003,362	3,551,620
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	296	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,997,328	3,079,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	2,178,946	5,664,709	6,892,649	14,736,304	—	14,736,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,178,946	5,664,709	6,892,649	14,736,304	—	14,736,304
セグメント利益又は損失(△)	524,317	907,833	△4,152	1,427,997	△938,777	489,220

(注) 1. セグメント利益の調整額△938,777千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「セキュリティソリューションサービス事業」セグメントにおいて、想定した収益が見込めなくなった事業用ソフトウェアの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては27,956千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、「ディーラー事業」セグメントの一部を「システムインテグレーションサービス事業」セグメントへ変更したことに伴い、のれんの一部についてセグメントの変更を行っております。当該事象による「ディーラー事業」におけるのれんの減少額は968,693千円であり、「システムインテグレーションサービス事業」においては、同額ののれんが増加しております。

なお、当第2四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「ディーラー事業」セグメントにおいて、アイ・ネット・リリー・コーポレーション株式会社の株式を取得したことにより、負ののれん発生益が生じております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、第1四半期連結会計期間においては59,478千円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間においては該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	セキュリティソリューションサービス事業	システムインテグレーションサービス事業	ディーラー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	2,248,910	6,017,437	6,399,643	14,665,991	—	14,665,991
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	28,342	53,394	81,737	△81,737	—
計	2,248,910	6,045,780	6,453,038	14,747,728	△81,737	14,665,991
セグメント利益	445,084	550,147	191,454	1,186,686	△799,844	386,841

(注) 1. セグメント利益の調整額△799,844千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。